

# キャロッピーデー

## 5月 《たまねぎ》

まいつき かい きくようまち  
毎月1回、菊陽町  
でとれる食べものを  
「キャロッピーデー」  
として紹介します。



きくようちゅうぶ しょうこうく まつむらゆきはる  
～ 菊陽中部小校区にある松村幸治さんの  
たまねぎ畑で話を聞きました。～

たまねぎの苗を畑に植えたのは、  
今年の11月10日から16日。  
成長が早い「ごく早生」と、「中早生」  
の2種類を、すべてご夫婦お二人で  
手作業で植え付けられたそうです。  
4月にはごく早生たまねぎの収穫  
が始まりました。

安全安心でおいしいたまねぎにこだわり、  
化学肥料をなるべく使わずに栽培されています。



「子どもたちに安全なものを  
食べさせたい」と松村さん。



早生のたまねぎは、  
新たまねぎともよばれます。  
水分が多くみずみずしい  
「春の旬の味」です。



たまねぎの葉が倒れたら  
収穫のサイン。  
1本1本手で抜いて  
いきます。土の中  
ではみずみずしい  
たまねぎが育っています。



畑の長さは、100m。  
7000本の苗が植えてあります。  
1日100kgから150kgを  
お二人で収穫するそうです。  
すべて手作業なので大変です。



\*一番大変なことは、土づくりです。  
土が良いと、大きくておいしいたまねぎが育ちます。

「キャロッピーデー」とは、  
菊陽町でとれた野菜やくだものを  
給食に取り入れる日のことです。

菊陽町でどんな農産物が  
栽培されているのか、  
一緒に勉強しましょう！



### Q&A わかるかな？

Q: 収穫できるという、たまねぎからのサインは何でしょう？

- ① 葉が倒れる ② 花がさく

\* 答えは、6月号でお知らせします。お楽しみに。